事例No.	1182
公表年度	R2
団体の属性	一般市
団体名	大阪府高石市

事例区分	一般行政

タグ	・教育・子育て ・地域運営組織 ・関係人口

事例種類	木材利用・普及啓発

事例内容・タイトル

小学生に対する森林環境教育の実施

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

普及啓発

大阪府　高石市（小学生に対する森林環境教育の実施）

- 高石市では、環境と森林との関係について理解と関心を深めることを学習のねらいとし、本市と友好都市である和歌山県有田川町に行き、森林環境教育に取り組んだ。
- 令和元年度においては、木でできた身の回りにあるものを考えさせ、そこから有田川町の森林率の高さや町の様子について理解し、児童の興味関心をもたせる授業を行ったうえで、現地へ赴き、校外学習を行った。

  現地での校外学習では、森林組合からの木の役割や木材生産、間伐についての説明を受け、その後、間伐材を使ってコースター製作を行うなどの学習に取り組んだ。

□　事業内容

1　「森林環境教育（森林ESD）」～有田川町との交流を通して～

（ねらい）

森林環境教育を通じて、人々の生活や環境と森林との関係について理解と関心を深める。

木工品の製作体験等を体験する。

【事　業　費】266千円（全額譲与税）

【実　　績】市内の１小学校３年生児童及び引率教職員
約90名が参加



（事業１：環境教育（事前学習・現地体験学習の様子）

□　事業スキーム

1　体験学習【コースターづくり】の実施

市 → 支援 → 学校（児童） → 見学・体験 → 林業・農業の魅力ＰＲ

□　工夫・留意した点

【視覚的に魅力を発信】
有田川町の風景の写真・林業の写真を視覚教材として活用した。また、有田川町が作成しているＰＶも活用し、自然豊かな様子、みかんの生産が盛んな様子等、有田川町の魅力に興味関心をもてるよう、工夫した。

【現地の方をゲストティーチャーに迎えて魅力を発信】
森林組合の組合長、有田川町商工観光課の課長をゲストティーチャーに迎え、町の魅力を感じ取れる体験学習プログラムを構成した。

◇　基礎データ

①令和元年度譲与額	2,133千円
②私有林人工林面積（※１）	0ha
③林野率（※２）	0.0％
④人口（※３）	56,529人
⑤林業就業者数（※４）	0人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」
※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」